

ICTを地域に活かす NPO活動

近年の情報通信技術の進歩は目覚ましく、社会はソサイエティ5.0という「超スマート社会」に向かうと言われていきます。ICTやAIが様々なカタチで日常生活に不可欠な存在になり、いつでも、どこでも、だれとでもは、もはや当たり前になってきました。そのような中で、NPO法人による活動をあらためて考えると、先端技術を地域の課題解決に活かすだけでなく情報格差によって生じる問題の解消からチャレンジ的な方々の就業を支える活動へと広がっています。

私たちはそうしたNPO活動における情報通信の活用や課題に協力して取り組む活動を推進したいと考えております。



代表幹事 三木哲也
国立大学法人電気通信大学 特任教授

ICTがあたり前の時代、だから。

情報化を通してひとづくりまちづくりのお手伝いをモットーに活動をはじめた27年、群馬県桐生市で市民力による地域メディア作りに、参画させて頂き桐生のデジタルアーカイブで15年、FM桐生設立に10年、桐生ドローン活用協議会で3年と細く長く活動をして参りました。

頼もしく次世代を担う若手の台頭と成長を、目を細めながら、桐生市みどり市の地域情報化に取り組んでおります。



副代表幹事 塩崎泰雄
桐生地域情報ネットワーク 理事長

設立趣意

「関東ICT推進NPO連絡協議会」は、関東地域で活動する特定非営利活動法人(NPO法人)相互間等の連携により、ICT(情報通信技術:Information & Communication Technology)を利活用したNPO法人活動の活性化を図ることによって、地域情報化を推進するとともに、地方自治体や大学等と連携して、地域住民の利便性の向上等、公共の福祉の増進に寄与することを目的に、平成16年6月に設立(設立総会6月24日)。

入会案内

入会を希望される法人・個人は、以下の「入会申込書」をダウンロードし、必要事項を記載し押印の上、事務局まで送付ください。

「入会申込書ダウンロード」

Excel http://www.soumu.go.jp/main_content/000367320.xls

PDF http://www.soumu.go.jp/main_content/000367322.pdf

NPO法人等の場合、原則として以下の書類(添付資料)の提出が必要となります。

(1) 規約・定款等 (2) 役員名簿 (3) その他参考事項を添えて、下記までお送りください。

【送付先】(事務局)

〒102-8795 東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎

関東総合通信局 情報通信部 情報通信連携推進課内

関東ICT推進NPO連絡協議会 事務局あて

「入会申込書」在中

【事務局】

〒102-8795

東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎23階

総務省関東総合通信局 情報通信部 情報通信連携推進課内

E-mail : it-npo@soumu.go.jp TEL:03-6238-1682 FAX:03-6238-1698

URL : <http://www.soumu.go.jp/soutsu/kanto/ai/npo/index.html>

facebook : <https://www.facebook.com/kanto.ictnpo>

Youtube : <https://www.youtube.com/channel/UCQHEpV90EihXNTBay8jnVPO>

いつも、地域と、つながって。

ICT+NPO
関東ICT推進NPO連絡協議会



【当協議会に参加すると】

- ・協議会が主催、共催、後援する各種行事に参加できます。
- ・会員NPO等が実施する地域活動(フォーラム、ワークショップ、講座、コンテスト等)への支援、協力が得られます。
- ・多くの会員NPO等との交流、連携の機会が得られます。
- ・同種の会員NPO等の活動を学び、その経験を自NPO等の活動に活かせます。

活動内容

- (1) 総会・幹事会
- (2) 広域連携事業 ※本協議会が関東全域で取り組む活動(取組事例)
 - ・ICT 地域防災情報支援システム調布フィールド試験 (平成 25 年度)
 - ・ビジネスモデル発見&発表会 (平成 28 年度～)
 - ・かんとうNPO映像祭 (平成 28 年度～)
 - ・わがまちCMコンテスト (平成 21 年度～ 28 年度) 等
- (3) 地域活動支援事業
※本協議会の会員NPO等が地域で行う意見交換会、討論会、講習会、施設見学会等を含む会員間の交流会等(取組事例)
 - ・官民が切り拓く地方創生フォーラム
 - ・在宅就労支援フォーラム
 - ・ICT勉強会、YOKOHAMA YOUTHUps! kick off
 - ・佐原国際文化に関する研究会
 - ・第4回協働型災害訓練 in 杉戸
 - ・まちづくりシンポジウム
 - ・インターナショナル・オープンデータ・ディ 2017@ 横浜
 - ・はたらきかたシンポジウム
 - ・元気シニアが脳年齢度を知って頑張るタブレット講座

その他、こちらの Web サイトをご覧ください。
<http://www.soumu.go.jp/soutsu/kanto/ai/npo/index.html>

神奈川県
KANAGAWA



横浜から、神奈川から
一緒に ICT で未来を作りましょう

神奈川県幹事 杉浦裕樹
横浜コミュニティデザイン・ラボ代表理事

【連絡先】 〒 231-0012
神奈川県横浜市中区相生町 3 丁目 61
泰生ビル 2 階
Tel. 045-664-9009
info@yokohamalab.jp
http://yokohamalab.jp



取組事例



在宅就労支援フォーラム

(平成 28 年 10 月 22 日@栃木県宇都宮市)
障がい者等の働きを支援することを目的に、国が推進しているテレワークの現状等の紹介、障がい者等の在宅就労の現状と今後について検討するフォーラムを開催。



官民協働が拓く地方創生フォーラム

(平成 28 年 11 月 16 日@山梨県韮崎市)
行政と民間による公共施設を活用した地域づくりを促進することを目的に、山梨県における行政と民間が連携した事業(図書館や美術館等の NPO による指定管理者の事例)の報告、女性活躍に関するパネルディスカッションを行うフォーラムを開催。



第 4 回協働型災害訓練 in 杉戸

(平成 29 年 2 月 3 日～4 日@埼玉県杉戸町)
将来発生する大規模な災害発生時に即時助け合いの対応ができる仕組みを作ることを目的に開催。防災関係の展示(災害対策用移動小型電源車含む)や講演を実施。



地域連携フォーラム「[I] 愛で [C] 地域と世界を [T] つなぐ」を開催

(平成 27 年 10 月 17 日@東京都調布市)
2020 年オリンピック・パラリンピックが東京で開催するにあたり、ICT を活用した総務省の取組や外国人観光客が活用する ICT などを考察するフォーラムを開催。



ビジネスモデル発見&発表会 2016 関東大会

(表彰式 平成 29 年 1 月 30 日@埼玉県さいたま市)
ICT ビジネス研究会、関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会との共催により、ICT で地域の課題解決等の商品・サービスのアイデア・ビジネスモデルの発表会及び表彰式を開催。



佐原国際文化に関する研究会

(平成 29 年 2 月 17 日@千葉県香取市)
香取市の「佐原の山車行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことをきっかけに、ICT を活用した佐原の歴史的町並みや祭り等の歴史的資源を活かした情報発信等のあり方についての勉強会を開催。



つくば地域連携交流会～つくばで自然災害を考える～

(平成 28 年 2 月 5 日@国土地理院「地図と測量の科学館」)
関東・東北豪雨を踏まえ、異常気象や避難誘導の問題などが取り沙汰されている。一方で地形などからみるとどうであったのか。今後の防災対策に役立てる講演会を開催。



高齢者脳活性化講座

(平成 29 年 2 月 23 日～3 月 27 日@栃木県内 5 地域)
高齢者が ICT を楽しく便利なものとして活用できることをめざし、タブレットやアプリの使い方を説明し、アプリを使った脳年齢判定、日本地図パズルなどを実践する講座を開催。



わがまちCMコンテスト 2016

(表彰式 平成 29 年 2 月 26 日@栃木県足利市、3 月 20 日@神奈川県小田原市)
地域の魅力を CM 映像化することを通じて、地域への愛着、情報発信力を高めることを目的に、関東地域のまちの魅力を題材とした、素人による 30 秒の CM 作品を募集し、優れた作品を表彰。足利市のほか、神奈川県でも神奈川の魅力を題材とした作品の表彰式「かながわ大会」を開催。



はたらきかたシンポジウム

(平成 29 年 12 月 9 日@群馬県桐生市)
「つなぐことで生まれる新しい価値」をテーマに、ICT、IoT の活用や異業種間、都市と地方などが「つながる」ことで新たに生まれる様々な「価値」やこれからの「働き方」を考えるシンポジウムを開催。